

大坂 全豪初V

女子テニス

世界ランク1位確定

【メルボルン共同＝藤原慎也】女子テニスの大坂なおみ(21)＝日清食品＝が26日、メルボルンで行われた四大大会第1戦、全豪オープンのシングルス決勝で第8シードの28歳、ウィンブルドン選手権2度優勝のペトラ・クビトバ(チェコ)に7-6、5-7、6-4で勝ち、日本勢初優勝の快挙を成し遂げた。第4シードの大坂は初制覇した昨年の全米オープンに続く四大大会2連勝となり、大会後に男女シングルスを通じてアジア選手初の世界ランキング1位となることが確定した。



テニスの全豪オープン女子シングルスでペトラ・クビトバを破って優勝し、トロフィーを手に笑顔の大坂なおみ。26日、メルボルン(共同)

日本テニス協会によると、シングルの世界ランクで日本勢の過去最高位は1933年に男子の佐藤次郎が記録した3位。当時は1年間の成績をコンピューターで換算する現行制度と違い、識者が順位を付ける方式だった。ダブルスでは現行制度の2000年に女子の杉山愛が1位となった。

大坂 なおみ(おおさか・なおみ)父はハイチ出身、母は日本人。3歳から米国で暮らす。13年に15歳でプロに転向。翌年に11年全米オープン女王のサマンサ・ストーサー(オーストラリア)を破って脚光を浴びた。16年に四大大会デビューの全豪オープンで3回戦進出などと躍進し、女子ツアーを統括するWTAの最優秀新人賞。昨年はツアー大会で初優勝し、全米で日本勢初の四大大会シングルス制覇。姉のまりもプロ選手。日清食品。180センチ。21歳。大阪市出身。(共同)